

Listen

兵庫教育大学附属図書館広報誌

特集

新入生のための
誌上館内ツアー

Index

- 02 新入生のための誌上館内ツアー
- 04 図書館広報のいろいろ
- 05 選書メンバー募集!
- 06 対話しよう! 図書館で
- 08 Check It Out!
ボクブックmovie
- 09 コラム
「棚上のフォークソノミー」
- 10 吉本剛典先生インタビュー
「ガイアに恋して」



Vol.8

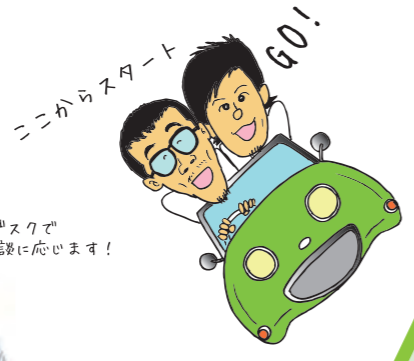
Apr 2014



1



ここはカウンター。本の貸出、学習部屋などの手続のほか、学外の資料の探し方・取寄せなど、さまざまな相談にも応じています。ここが図書館の一番地、図書館人生の出発点でもあります。



2



PAOサポートデスクで皆さんのご相談に応じます!

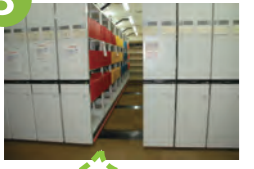


PAOでは蓋付き飲み物はOK!



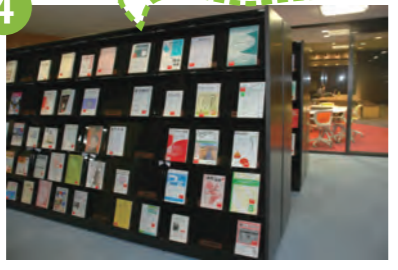
ラーニングcommons PAO
PAOは、学生が対話しながら主体的に学ぶ空間です。テーブル・イス、ホワイトボードを自在にレイアウトして協同で学習、パソコンで調べたり、プロジェクターでプレゼンするなど使い方は自由。また、特大のリーディングテーブルも備えています。ワールドカフェや公開授業などのイベントも活発に行われます。

3



学位論文コーナー
本学修士生の論文を保存しています。

4



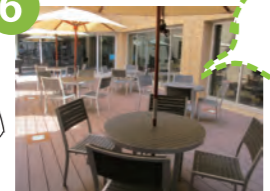
新着雑誌コーナー
少し前の号は、この棚の中にストックしています。もっと古い号は、地階の書庫B1・B2で保存。

5



特殊資料室にはDVD、CD、ビデオなどAV資料がたくさん置いてあります。

6



オープンテラス
青空の下でリフレッシュ。グループ学習や読書にも。

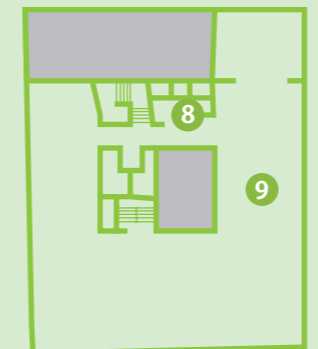
新入生のための

誌上館内ツアー

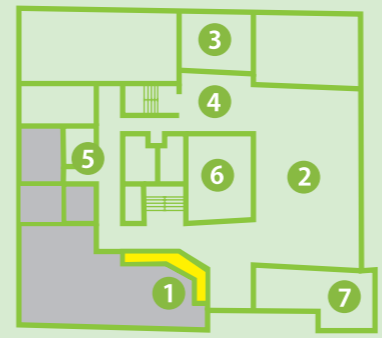
画と文・藤原克彦 (附属図書館)

featuring 謎の図書館員NとM

新入生のみなさん、ようこそ。もう図書館はご覧になりましたか? 図書館はみなさんのキャンパスライフの中心地。今から謎の図書館員NとMがみなさんを館内にご案内します。



2階



1階



地階

8



パーソナルラボ
個人研究室は3室あります。一人でじっくり勉強できます。



予約もできます。

9



2階では静かに

2階の開架書架と閲覧机が並ぶ静かな空間。教科書や参考図書なども並んでいます。無線LANも使えます。



ここは**教科書コーナー**。小・中・高校の教科書が揃っています。

電動の棚が並ぶ**書庫B1・B2**。雑誌バックナンバーや白書などが置いてあるよ。

10



より安全な利用のため、周りに人や踏み台がないか確認しましょう。

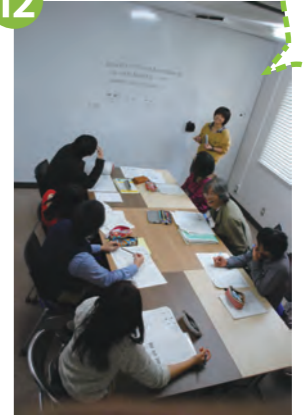


11



ライブラーホール
講演、授業、発表会などに利用できます。80人程度収容可能。AV機器も完備。

12



グループラボは3室。8人程度まで入れます。グループ学習やAV資料の視聴ができます。

壁いっぱいのホワイトボードが自慢です。



7

ここでは年に2回、企画展を開いています。展示のテーマは、教科や食育など学校に関するもの、教員・学生の研究成果など。解説や体験コーナーなど工夫をこらした展示は地域のかたにも大好評。今年度前期は学生主体の「自分展」。



教材文化資料館 展示室

2



Open air



図書館でお会いしましょう!



3



マスコットキャラクター

ライビー(2歳)

図書館広報のいろいろ

ホームページ

図書館の利用法や開館スケジュール、各種サービスの申込方法などをまとめています。また CiNii を始め論文を探すために有用なツールも紹介しています。図書館の蔵書を探す検索窓もあるので、図書館利用のポータルサイトとしてご利用ください。ブックマークをお忘れなく。



<http://www.lib.hyogo-u.ac.jp/>

フェイスブックページ

イベント開催情報や新着図書案内、臨時休館情報など、附属図書館と教材文化資料館(図書館に併設)に関するニュースをタイムリーに発信しています。Facebook の醍醐味は、利用者の皆さんと顔の見えるコミュニケーションを展開できるところ。よかったら、ぜひ「いいね！」してくださいね。



<https://www.facebook.com/hyokyolibrary>

メールマガジン

昨年10月から始まった月刊メルマガ「Library News」。附属図書館と教材文化資料館のニュースや活動報告をメールで配信しています。学生・教職員の学内メールアドレスに一斉配信しているので、登録は不要です。読者アンケート(メール末尾参照)によるフィードバックで、よりよい誌面づくりをめざしています。



ニュースレター

年刊の広報誌「Listen」。「わたしたち(図書館員)の話聞いてほしい」と「皆さんの話も聞いてみたい」というのが本誌のコンセプト。毎回、大勢の学生・教職員の方々に誌面づくりに関わっていただいています。単なる情報誌ではなく、読みものとしてもきっと楽しんでいただけるはず。バックナンバーはWeb版で読めますよ。



<http://www.lib.hyogo-u.ac.jp/about/newsletter>

選書メンバー募集!

フェイスブック選書アプリを使ってアマゾンで選書しよう

あなたも附属図書館の蔵書づくりに参加しませんか。
あなたが附属図書館にあったらいいなと思う本をぜひ教えてください。
といっても、方法はとてもカンタン。
オンライン書店 Amazon で本を選び、それを Facebook シェアするだけで OK。
ただそれだけです。
書名や出版社名、ISBN など本の情報を打ち込む必要は一切ありません。
早速、選書メンバーになりましょう!

click only



Step1

Facebook にログイン

Facebook アカウント
を使うので、ユーザ
登録不要。

次の2つの条件を満たせば、選書メンバーになることができます。

- Facebook アカウントをもっていること。
- Facebook アカウントの基本データ「職歴と学歴」欄に「兵庫教育大学」が含まれていること。

Step2

選書メンバー になる

選書アプリタブを
クリックするだけで
メンバーになれる



兵庫教育大附属図書館 Facebook ページ
(<https://www.facebook.com/hyokyoilibrary>)
にあるこのアイコンをクリックし、
あなたの Facebook 情報を図書館に提供
することについて許可してください。

Step3

Amazon で本を選ぶ

本を選んだら
Facebook でシェア
しよう!



Amazon で本を選んだら、
Facebook のシェアアイコンを
クリック。これで完了。
附属図書館のサーバがあなたの
選書情報を自動取得します。

- 図書館が Facebook を通じて収集した選書情報は、図書館における選書の一次資料として活用させていただきます。(購入を確約するものではありません。)
- Facebook アカウントはないけれど選書したいという方は、学生推薦図書制度をご利用ください。<http://www.lib.hyogo-u.ac.jp/intra/recommendbook/>
- この選書アプリは、附属図書館の蔵書としてふさわしい本を推薦いただくためのものであり、個人の読書要求に基づく購入リクエストについては、学生希望図書制度をご利用ください。(申込用紙は、図書館各所や丸善に備え付けています)

対話しよう!

図書館で。

学部・大学院、年齢・コースの垣根を超えた、新しい学びと対話の場をつくる。このコンセプトのもと、平成25年度に展開した活動の1つが「ワールドカフェ」です。その刺激的な活動内容をご紹介します。

ワールドカフェとは?

一言でいえば、「対話を中心としたワークショップの手法」のことです。具体的には、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、メンバーの組み合わせを変えながら、3～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あなたも参加者全員が話し合っているような効果が得られる手法だと言えます。

どんなテーマがあったの?

平成25年度は、「叱る×人間関係」「働き方×教師」「居場所ってなんだろう?」「社会人ってなんだろう?」などのテーマで計7回開催しました。テーマは、事前に有志の学生と話し合っただけで決めました。具体的には、学生の興味関心からキーワードを出していき、大学の特徴や時期などを踏まえて絞り込んでいくというかたちです。

対話<ダイアローグ>とは?

相手と自分の価値観は違うのだということを前提としながら、自分たちの意見や価値観の相違点を話し合いで見つけ出し、その点についてさらに話し合うことで、お互いが納得できる道へと導いていく過程、あるいは、そのようなコミュニケーションだと言えるでしょう。特定のテーマについて対話することは、参加者の気づきや発見を促し、見方や視野を広げていくことにつながります。



参加者の声

生田梨奈さん
学校教育学部 学校心理系コース

最初は、ワールドカフェは私にとってもドキドキの空間でした。でも、何回か行くうちに気づいたことがあったのです。それは「自由に考えて話すと、こんなに楽しいことなんだ」ということでした。ワールドカフェの魅力は、みんながお互いを認め合っているところ、そして、普段感じていること、今まで気にしてなかったけど、言われてみれば疑問に思うこと、そんな何気ない話題について自由に話せることです。自分にはなかった視点で新たな発見があったり、自分の考えを深めていけたり…。ワールドカフェに行っていなかったら関わることなかっただろう学部生や院生さんとも仲良くなれますよ(*^^*)

なぜこの手法?

ワールドカフェには、「多様な人々による知的交流」を促す特徴があります。例えば「リラックスできる雰囲気」「いろんな人と話せるプログラム」「初対面でも話がつながる・深まる」などです。このような特徴から、現在では、自治体や企業、病院や学校などでも広く取り入れられており、本学においても、演習科目や研修等で実践されています。

どんなことをするの?

大きく4つのステップから構成され、参加者や時間、テーマなどに合わせてプログラムをデザインします。

1. 探求ステップ

3～5人ずつテーブルに座り、自己紹介後、テーマ(問い)について対話を始めます。

2. 他花受粉ステップ

各テーブルに1名のホスト(主人)だけを残して他のメンバーは別のテーブルに移動します。改めて自己紹介し、各自が元のテーブルで話された内容を紹介しながら、対話を再開します。

3. 結合ステップ

各人が元のテーブルに戻り、他のテーブルで出た話を紹介し合いながら対話を続けます。

4. 収穫ステップ

対話を通して得た気づきや発見を全体で共有します。カフェのホストがファシリテーター(調整役)になって全体で対話することもあります。



石橋 由紀子 准教授
特別支援教育コーディネーターコース

「特別支援教育コーディネーターに関する研修」で、ビジネス書を課題図書として設定したワールドカフェを実施しました。豊かな経験と問題意識を持つ先生方ならではの読み解きを語り合い、自分を見つめ直すような機会になればと思っています。



参加者の声

水野公太郎さん
大学院専門職学位課程 小学校教員養成特別コース

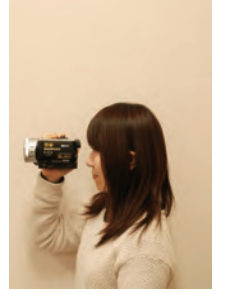
日本人は一般的に対話が苦手と言われています。普段の生活をふり返ってみると…。なかなか対話をするという場面がありませんよね。ワールドカフェでは、普段の生活の中で気になってはいるけど考えるに至らないこと、自分自身がすごく悩んでいることなどをテーマに対話をしていきます。共感することを大切にしているので、決して自分の意見を否定されたりしません。いろんな人と対話をしながら、自分の考えを深めることができる。自分にはなかった考えと出会うことができる。そこがワールドカフェの魅力です。対話っておもしろいです。みなさんもいろんな人たちと対話してみませんか?

Check It Out!

ボクブック movie

『ボクブック movie』は、学生や教職員によるオススメ本の紹介ムービーです。

出演者
募集中!



附属図書館

河島 真美

高校時代に放送部で培った動画編集の腕を買われ、目録業務のかたわら、ボクブック movie 編集長として活躍。

加治佐哲也学長



心の糧、支えてくれる本になると思います

これは、ドイツのナチスの収容所での人間行動を描いたものです。非常に悲惨な場面がたくさん出てきますが、冷静に人間が観察されていて、その中でも人間の希望や力強さ、前向きな姿勢というものをちゃんと描いてあります。つまり、人間というものは、どんな状態にあっても必ず希望さえて次につなげられるということが描かれているのです。

『夜と霧：ドイツ強制収容所の体験記録』
(V・E・フランクル著；霜山徳爾訳、
みすず書房、1971年)



遠藤和佳さん

大学院修士課程
教育コミュニケーションコース



読んだあとには
心があたたかくなる1冊です

このタイトルは、「辞書は言葉の海を渡る舟。その辞書を編纂する作業は舟を編み上げていくことだ」というところから付いています。タイトルどおり、辞書の編纂に関わる人たちの話です。すごくおもしろくて、時々泣けて、読んだあとには心があたたかくなる、そんな一冊です。

『舟を編む』
(三浦しをん著、光文社、2011年)



ただいま図書館エントランスで、絶賛放映中！ 図書館ホームページから YouTube にアップされた動画を観ることもできますよ。
本学の学生や教職員は、どんな本を読んでいるのか。興味のある方はぜひご覧ください！
そして、新たな本との出会いにさせていただけたらと思います。

他にもいろいろありますよ！

ボクブック

検索



国生さゆりが 490 円で売られている。それもスーパーの食料品売り場で。ひとりの客が足をとめ「商品」に興味を示すが、やがて苦笑じりの顔で「いらねえ」と吐き捨てて去っていく。ある計量器メーカーが手がける電子棚札システムのテレビ CM である。売れない国生さゆりを見かねた店員が遠くからタブレット端末を操作すると、棚の値札のデジタル表示が 98 円までディスカウントされるといふ落ちだ。

正月に何度もこの CM を見ていて、ふとひらめいたことがある。同様の発想を書架にも適用できないか。エコとかスマートという時代の精神に反するところが難点だけれど、棚に電子的な機構をとりつければ、従来では考えられなかった本の管理や配架の表現が可能になるはずだ。だからとお餅を頬張りながら、そんな空想をしばらく膨らませてみた。

たとえば、宮崎駿監督のアニメ映画『風立ちぬ』を観た学生が、図書館でその関連作品である堀辰雄の同名小説を読みたいと思ったら、現状では「日本文学」の分類場所に赴かなければならない。その足で、今度はその映画に登場する飛行機や戦闘機について調べたいと思えば、「航空宇宙工学」の分類に移る必要があるだろう。あるいは宮崎駿監督他の映画に興味があれば、「日本映画」の分類をめざすことになる。

彼にとれば、これらの資料が一堂に会している書架が理想だろうが、そんなうまい話はない。

図書館（当館のみならず世の多くの図書館）の本は、「主題」によってきっちり分類されていて、個々のユーザの頭の中にある気まぐれな連想のつながりを、書架作り（本の配列）に反映させることなど夢の話である。

ではなぜ、本は主題で分類されているのか。それは、同じような主題の本が同じ場所に置いてあることが、ユーザインターフェースとして最も理想的だと考えられているからである。このことは本が書名順で並んでいたり、受入順で並んでいたりする様を想像すれば、

容易に見当がつく。だが、もちろん弊害もある。

そもそも、多義性を秘めたテキストである一冊の書物から、ただひとつの主題を抽出して（複数主題を抽出する分類法も存在するが普及していない）、半永久的にその分類場所に配置するということが、果たして最善の方法なのか。

図書館で本を分類するというとき、それはあらかじめ決められた分類体系内のどこかに本を位置づけることを意味するが、その体系が客観的で包括的であればあるほど、そこに生まれる書架空間は過度に均質化された無機質なものになってしまう。いや。

そういう声が、「場」としての図書館が見直されてきている今日、多く発せられてきているのも事実である。

この点、Web の世界ではかなり融通が利く。仮想本棚上では、一冊の本を分類体系の「どこか」にではなく「どこにでも」出現させることができるし、そもそも、分類体系などお構いなしに自分勝手に分類することだってできる。

たとえば、ブログに記事を投稿したり、Flickr や YouTube で写真や動画をアップしたり、Twitter でハッシュタグをつけて投稿するとき、私たちは「タグ付け」と称して、そういう独自分類を日常的に行っている。

タグ付けは、個人や特定グループ内の利用を想定して行われる場合もあるが、不特定多数のユーザの手によるタグが集積すれば、たちまち乱雑だが巨大な分類体系（タグクラウド）ができあがる。

このように、所与の分類システムには依拠せず、ユーザが自由にタグ付けを行いそれを共有するボトムアップ型の分類作業のことを、従来の分類学（タクソノミー）に対して、フォークソノミーと呼ぶらしい。つまり、みんな（folks）で分類するのである。

Web の専売特許であるこの分類法を、リアル空間における書架上で実践できないか。それが、私の寝正月をつらぬく研究テーマとなったわけだが、とはいえ思いついたのは至って単純なアイデアである。

図書館職員に加え、ボランティアや利用者など多くの人々が、分類ルールにとらわれず、めいめいで自由に本を並べるしくみが作れないか。そうすれば、上掲の『風立ちぬ』の例のように、個人の連想のつながりを書架表現に反映させることができるだろう。そして、そんな書架がたくさんできれば、きっと楽しい図書館になるに違いない、と。

このような自由な分類が可能となる条件は、本がどこにあるかを客観的に辿れる手立てがあることである。分類が恣意的になれば、誰がどこに何を置いたかがわからなくなるからだ。そこで、コンピュータの出番である。

すべての蔵書に IC タグを貼り付け、その電波をキャッチするセンサーをすべての書棚に取り付ける。センサーはサーバとつながっていて、誰かが PC で本を検索すれば、「その本は、B15 番の棚にあります」などとサーバが配架場所を応答するしくみである。

このしくみがあれば、基本的に本はどこに置かれていてもかまわない。だから、自由で即興的でスリリングな分類配架が可能となる。これまで本の展示コーナーといえは図書館の片隅で細々といたなまれてきたが、これにより図書館全体が展示コーナーと化するのである。

こんな誇大妄想を、もし図書館関係の人に話せば一笑に付されるに違いない。確かに一般的な図書館には非現実的なモデルである。私が念頭に置いているのは、蔵書が 1 万冊に満たないような小規模図書館、特に展示が重要な意味をもつ学校図書館である。

正月明け、早速出入りの業者に自身の腹案を耳打ちしたところ、意外な答えが返ってきた。「センサー付きの書架なら、うちで取り扱いますよ」。使用目的は違えど、既に商品化され世に出回っているらしい。カタログの品番まで案内されてしまった。しかも、見積を依頼すると耳を疑う金額を提示される始末。そんなわけで、私の初夢は鏡開きも待たぬうちにあっさりお蔵入りとなったしだいで。す。（了）



吉本剛典先生 インタビュー ガイアに恋して

認識形・成系教育コース
(社会系教育分野)
専門：人文地理学、地図学



附属図書館PAO
サポートスタッフ
丸毛幸太郎

地理は近代学問の母

(永井) 勝手にお訪ねしておいて何なんですが、私、地理が大の苦手でした。非常に掴みどころのない学問ですよね、地理って。そもそも理系なんですか文系なんですか。

(吉本) 両方あります。私の専門は人文地理ですが、地理がどういう分野かなんて話し出すといくらでも話せるな。よくいわれるのは、地理は非常に古い学問で、多くの内容を含んでたということ。それが、歴史が進むに従って、今のように専門分化していった。だから地理は色々な学問の母、といわれます。少なくとも地理の人は(笑)。

(永井) 地理と哲学は近代学問の母と、いっていいですね。

(吉本) 哲学はね、英語でフィロソフィーというでしょ。「知への愛」ということです。哲学という学問から色々な分野がでてきました。大学というのは、本来的にはキリスト教の学校を意味していた。中世の末期、それが、キリスト教を超えて世界に広がっていきにつれ、大学のなかに四つの学問ができました。神学、法学、医学。四つ目は何かというと、それ以外残り全部です。それが哲学です。この四つが、

インタビュー

附属図書館
永井一樹



ヨーロッパ中世の学問の基本になる。

(丸毛) そういえば、博士のことをPhDといいますね。このPhDって...

(吉本) Philosophy (哲学) です。

(丸毛) ということは、「その他の学問」を修めた人ということですか？

(吉本) 直訳すると哲学博士。それはメイカルドクター、つまり医者と区別するための名称ですね。

工学(エンジニアリング)の分野もそうです。昔は軍事技術と民間技術(シビルエンジニアリング)という分類しかなかった。民間技術は、色々派生していった。「機械」とか「電気」とか、最近では「情報」なんか生まれました。そして残ったものは何かというと、土建です。なので土木建築は今でもシビルエンジニアリングと呼ぶ。名前からいくと変でしょ。「シビル」なんてえらくたいそうな...

(丸毛) なるほど。

(吉本) 地理も実はそういう側面がある。地理は英語で言うとGeo-geographyですが、もともとはヨーロッパ系のことです。「Geo(ジオ)」というのは、ギリシャ神話の女神ガイアのこと。キ

リシャ神話で最初に登場する神様で、「大地」という意味です。ガイアが地球を生んだ後に、天(地球以外の空間)が生まれたとされている。

(丸毛) 先に地球があったんですね。

(吉本) そう。そのガイアというのが、ジオの語源です。で、ジオグラフィ、大地のグラフ。線で書かれた図はすべてグラフといえます。グラフィというところを漢字だと、地理とは地と理でしよ。「地」は大地とか地域とか人間が暮らしている土地のことで、これがジオだとすると、理はロジックだから、ジオロジリーになりそうでしょ。ところが、ジオロジリーは地質学です。じゃあ地理という名前はどこから来たかという、中国です。漢語なんですね。

伊能忠敬のファンなんです

(永井) 先生が地理を志されたきっかけは何ですか。

(吉本) 私、実は伊能忠敬のファンなんです。彼は、歴代日本人のトップ10に入るくらい偉い人ですよ。

(丸毛) 地理に関心のない人は、伊能忠敬ってそんなに偉い人だとは思ってないんじゃないですか。

(吉本) 丸毛さんは、小学校の教員免許持ってる？

(丸毛) 持ってます。

(吉本) 小学校の社会科でね、六年生は日本史とか歴史の勉強をしますが、二五年前の学習指導要領の改訂から人物学習、つまり、日本の歴史(通史)を人物中心で勉強させなさいということになった。では、いったいどの人物なのか。当時の文部省が指定して、学習指導要領に書いています。一番古いのは卑弥呼。一番新しいのは、野口英世。合計四人。その中に当然、伊能忠敬が入っている。だから、少なくとも彼は、日本の歴史のなかでトップ42には入ってる。

(永井) 確か、伊能忠敬は引退してから、動き出したんですよ。

(吉本) 昔は五十歳で引退。彼は今の千葉県の商家に生まれました。地図を作り始める以前から、既に地域の名士で、経済力も人望もある人でした。隠居後、当時の幕府の天文方、高橋至時の元へ弟子入りし、測量技術を学びます。ギリシャ時代からいられているように、土地のことを知りたければ天を見ろ。まあ現代のGPSのような発想です。天を見て地を知る。

なぜ円周は三六〇度なのか？

(吉本) たとえば、時間は何時何分何秒というでしょ。角度も何度何分何秒。一度は六〇分、一分は六〇秒。分とか秒は時間でもあるし角度の単位でもある。円周は三六〇度、直角は九〇度。ちょっと半端だと思いませんか。

(丸毛) たしかに、一〇〇とかよりは...
(吉本) きれいな数字じゃないでしょ。なぜか。基本は、一年間は三六五日(古代バビロニアでは三六〇日といわれていた)、要するに三六〇度の角度は地球が一年で太陽の周りを回る公転周期と自転周期の比率から来ている。つまり、天体の動きをもとに時間も角度も決まった。人間の日常的な時間感覚、つまり一年という単位と一日という単位の比率に由来にする。

(丸毛) 三六〇円でしたっけ？

(吉本) そう。一ドルは三六〇円。なぜ三六〇円か。それは日本の通貨単位が「円」だったから、という俗説があります。

(丸毛) へえ。

(吉本) 三六〇円というのは、日本の輸出産業にとってすごく有利だった。円の価値が実質より異様に安かったわけですから。日本が高度経済成長を成し遂げたのは、この固定相場に負ったところが大きい。

だからね、われわれが今それなりに生活できているのは、辿りに辿れば天文とか地理のおかげなんです。

それは、一ドルが三六〇円になったから。なぜ三六〇円になったかという、古代の天文学者が円周を三六〇と定めたからですよ(笑)。><



600 頁超の部厚い本ですが、読みだすと止まりません(私だけ?) ので要注意!
初版の翻訳(1988年)も、英語の原著『The Mapmakers』John Noble Wilford, 2000 (rev.ed) も附属図書館にあります。

『地図を作った人びと』ジョン・ノーブル・ウィルフォード著: 鈴木主税訳、河出書房新社、2001年(改訂増補)

オススメ本



吉本先生にQ

Q 地図の起源は？

(吉本) 数万年前に現生人類はアフリカから出発して世界中に広がっていきました。その過程でどこに行けば獲物が取れるか、水が得られるかといった、生活上の必要から始まったといえます。最古の地図はヨーロッパの壁画に描かれています。あと南太平洋の漁民が椰子の葉柄や貝殻を組み合わせて作った地図なんかもあります。どの海流に乗ったら、どんな島に着き、どの海流に乗ってどのくらい行ったら、漁場があるかということを記録したのでしょう。

Q 地図というメディアは、文字よりも前にあったんですか。

(吉本) 地図は文字よりも古しいとされています。文字の「文」は、「縄文」のように「もん」とも読めます。土器に刻んだ模様の象形文字ですね。だから、「文」と

書いて、「ぶん」と読めば文章だし、「もん」と読めば模様(絵)のことです。(象形)文字というのは、絵であり、同時に記号でもある。でも、地図はもっと原始的なメディアです。自分の見たものをそのまま写すもの。その意味では写真に近いですね。

Q GPSとGISって何ですか？

(吉本) GPSは、グローバル・ポジショニング・システムで、衛星から地球上の位置を特定しようというもの。車や携帯電話についているし、湾岸戦争のとき、米軍がヘルシヤ湾からミサイルを飛ばすときにも使われましたね。GISは、ジオグラフィック・インフォメーション・システム。地理情報システムで行政とマーケティングの分野でよく使われています。地図と地図以外のデータ、たとえば経済指標とか世帯の資産とかそういうものを地図に乗せて、地図によって色々なマネジメントするものです。最近では、小中学校・高校での教育利用も広がってきました。



私の朝は誰よりも早くやってきます。ほぼ毎日3時に起床!! 講義の準備をし、6時からは早朝ランニングに向かいます。そのランニングを通して、警備員の方、犬の散歩をしている地域の方との繋がりができました。

また、「図書館の住人」と言わんばかりに、3年間の大学院の生活で図書館は欠かせない存在でした。講義のレポートや採用試験の勉強、論文の執筆と朝から晩まで図書館にこもっていました。その図書館での居住生活を通して、知り合いになった人も大勢います。

さらに、3年間の学生生活では、院生協や寮の自治活動にも

積極的に参加し、様々な問題と向き合ってきました。その活動を通して、大学の先生方、関係者の方、現職の先生方、コース外の方との繋がりができたのは、学生生活を充実させたひとつの要因です。

4月からは、夢であった小学校の教員として学校現場に出ます。鬼のように厳しく、誰よりも愛情深かった就学指導教員。この先生をいつか納得させることができるように、「わかって、できる」授業をめざして、日々子どもたちと向き合っていきたいと思っています。

インフォメーション

学術情報リポジトリHEARTをリニューアルしました!

本学の教育研究成果を世界に向けて発信する学術情報リポジトリHEART。このシステムとして採用しているDspaceのバージョンアップを行いました。

これにより、検索面では、著者名リンクから著作一覧を表示したり、検索結果の表示方法を柔軟に設定できるなど、操作性が向上しました。

このほか、公開制限機能の追加や博士論文を国立国会図書館に自動収集してもらうためのカスタマイズを行いました。

HEARTは、学術論文だけでなく、修士論文や博士論文、学校現場から収集した学習指導案等の教育実践資料の保存・公開プラットフォームとして、今後も中心的な役割を果たしていきます。

修士論文閲覧用パソコンを図書館カウンターと神戸HLCに設置します!

図書館で特に利用率の高い1階学位論文コーナー。

しかし、本学では平成25年度修了者から修士論文(学修成果報告書を含む)の製本を廃止し、今後はすべての論文を電子ファイルで保存することになりました。

修士論文閲覧用パソコンを図書館カウンターに2台、神戸ハーバランドキャンパスに1台設置します。

なお、平成24年度以前の修士論文は従来通り、学位論文コーナーに配架の製本を閲覧いただけます。

新年度が始まり、最終学年の皆さんはそろそろ修士論文に本腰を入れ始める頃でしょう。先達の汗と努力の結晶に触れて、モチベーションを高めるのもいいかもしれません。

平成25年度事業・イベント一覧

4月	<ul style="list-style-type: none"> 教材文化資料館平成25年度前期展「おながく 一唱歌教育の流れー」(8月29日まで) 図書館ツアー
5月	<ul style="list-style-type: none"> 附属図書館facebookページの正式運用開始 第1回ワールドカフェ 第1回附属図書館運営委員会
6月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回ワールドカフェ 利用講習会「論文・レポートを書くための文献探索入門」 ランチタイムコンサート(教材文化資料館)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 第3回ワールドカフェ 第2回附属図書館運営委員会 「兵庫教育大学附属図書館蔵書の除籍資料選定指針」策定
8月	<ul style="list-style-type: none"> 第3回附属図書館運営委員会
9月	<ul style="list-style-type: none"> 開館日・開館時間の変更(長期休業期における平日短縮開館と土日祝日の休館及び館内整理のための月末休館を廃止)
10月	<ul style="list-style-type: none"> 教材文化資料館平成25年度後期展「アイラブ和算展」(2月28日まで) 地階雑誌書庫に電動式集書書を導入 附属図書館1階及び地階に防犯カメラを設置 附属図書館メールマガジン「Library News」創刊 ポクブックmovie(学生・教職員による本の紹介ムービー)配信開始 EBS00 ディスカバリーサービスのトライアル(3月31日まで) 第4回ワールドカフェ 第4回附属図書館運営委員会
11月	<ul style="list-style-type: none"> 兵教ライブラリーフェスタ <ul style="list-style-type: none"> -哲学カフェ『働くってどういうこと?』 -絵本の読み聞かせ -絵本の読み聞かせ座談会 -映画上映会『海炭市叙景』 -ブックリサイクル(不用図書の無償配付) 第5回ワールドカフェ 第5回附属図書館運営委員会 Library News(11月号)
12月	<ul style="list-style-type: none"> 第6回ワールドカフェ 第6回附属図書館運営委員会 Library News(12月号)
1月	<ul style="list-style-type: none"> 第7回ワールドカフェ Library News(1月号)
2月	<ul style="list-style-type: none"> Library News(2月号)
3月	<ul style="list-style-type: none"> 第7回附属図書館運営委員会 Library News(3月号)



編集後記

特集に登場する人物イラストのひとり(滑稽な方)は、私がモデルらしい。全く不本意ですが、誰に聞いても瓜二つだということです。自分の目で見ると、他人の目で見るとは、こうも印象が違うものでしょうか。4月1日から教材文化資料館で、学生主体の企画展「自分展」が始まりますよ。乞うご期待。(N)

Listen vol.8 平成26年4月発行

編集・発行 / 兵庫教育大学附属図書館
673-1494 兵庫県加東市下久米942-1